

木や森への扉となる情報サイトで「木育」を多くの人に広める挑戦

株式会社 Tree to Green

採択テーマ ▶ 子どもの居住空間に特化したSNSサイトの構築

日本の“木”を使ったモノづくりから、よりよい環境や文化を創ろうとしている企業。その想いは、まさに「木から緑へ」という社名にも込められている。樹木を通じた自然とのつながりを楽しみながら実感することにより、木や森林への親しみや理解を深める「木育(もくいく)」を広めるため、さまざまな「木」の事業を展開中。

キーワード ▶ 国産木材×職人の技術×デザイン



取締役：小瀬木 隆典さん



同社のホームページ内に設けられた、木の情報満載の「木育ワークショップ」のサイト。



木を使った「くぎ写真立て」を作るワークショップの様子。



イオンスタイル東戸塚の「かめひろば」。同社では、日本の木を中心に使った、さまざまな空間づくりを行っている。

◆「木」の世界とITをつなぐ新たなサービスへ

2013年、代表取締役の青野裕介さんとともに、「日本の森林」をテーマにしたこの会社を興した、取締役の小瀬木隆典さん。長野県木曾郡の製材・木工メーカー、小瀬木木工所の3代目である。株式会社Tree to Greenの事業の3本の柱は、木製品、空間の内装、そして木と親しむ体験。これに、小瀬木さんの前職がIT関係だったことも活かし、「木」の世界とITをつなぐ分野で、革新的サービスの事業化支援を受けた。最終的には、エンドユーザーの子育て空間に関する情報サイトを構築し、木でつくられた空間の有効性を広めることを目指した。

◆「今だから考えたい木育の話」を連載して話題に

このプロジェクトでは初めに、iYell株式会社が運営し、住生活に関する幅広い情報を発信するサイト「すみかる住生活版」での展開からスタート。ここに専用コンテンツページ「今だから考えたい木育の話」を作成し、広く情報を提供した。木を大切にする人を育てる「木育」や、木でつくられた子育て空間、さらには森林などに関する40本以上の記事を掲載し、多くのアクセスを獲得。小瀬木さんは「他社とのコラボレーションによってマーケティングも行うことができ、良いステップになったと思います」と語る。

◆「木育ワークショップ」のサイトを構築して情報を提供

さらには、同社のホームページにおいて、「木育ワークショップ」のサイトを構築。情報を随時アップデートすることによって、「子育て空間づくりといえばTree to Green」というブランドイメージの確立を図っている。「事業化支援のプロセスを通じて、当社の考え方がより整理されてまとまってきたというメリットも大きいですね。さらにサイトにおける動画などの数も増やしながら、分かりやすく説明できるようにしたいです」と小瀬木さんは語った。今後は木曾に木育の拠点を誕生させるビジョンも有し、地域の活性化にも繋げようとしている。



「木」が持つさまざまなポテンシャルを活かしながら広げていく、社会的な意義の大きなプロジェクトだと思います。強い企画力とネットワークを持つ会社で、ビジネスの展開を見ながら柔軟に行動できるところも、優れたポイントだと感じました。

会社概要

所在地 ● 東京都渋谷区上原1-30-2 野村ハウス2F TEL ● 03-6447-4770 URL ● <https://treetogreen.com>
代表取締役 ● 青野 裕介 設立 ● 2013年7月 資本金 ● 1,200万円